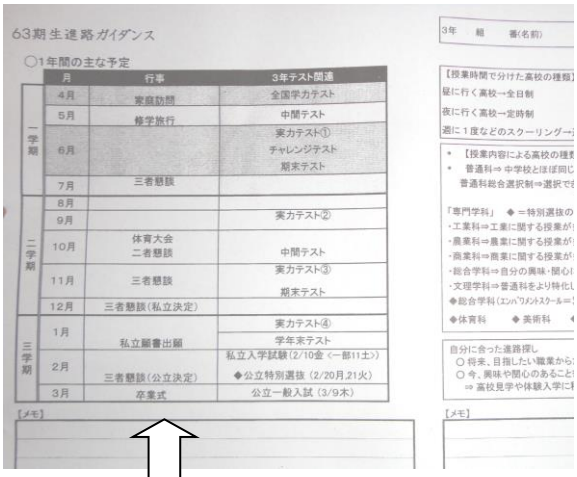
63 期生

３年生学年だより

豊中市立第五中学校　2016 年４月 18 日(月)　No.4

４月 14 日(木)５限：進路の話！！

中先生から進路の話がありました。みなさんにとっては「いよいよ３年生か…」と実感が湧いてくる話だったと思います。たくさん大切な言葉が出てきていましたが、しっかりメモを取ることができたでしょうか？



63期生進路ガイダンス

○1年間の主な予定

	月	行事	3年テスト関連
一学期	4月	家庭訪問	全国学力テスト
	5月	修学旅行	中間テスト
	6月		実力テスト① チャレンジテスト 期末テスト
	7月	三者懇談	
二学期	8月		
	9月		実力テスト②
	10月	体育大会 二者懇談	中間テスト
	11月	三者懇談	実力テスト③ 期末テスト
	12月	三者懇談(私立決定)	
三学期	1月	私立願書出願	実力テスト④ 学年末テスト
	2月	三者懇談(公立決定)	私立入学試験(2/10金 <一部11土>) ◆公立特別選抜 (2/20月,21火)
	3月	卒業式	公立一般入試 (3/9木)

このような紙が配られました。

大事な話！！こんな言葉が登場していましたね！！

「定期テストと実力テストの違い。ねらいや目的は？」

ちなみに答え→1～2ヶ月ちょっとの範囲で、どれだけの力が身についているかを測るのが定期テスト。大きな範囲で入試本番を想定したものが実力テスト。

「特別選抜と一般選抜」や「私立高校・公立高校」

などなど

「学力=集中力×時間」である。

これは中先生の話の中で出てきた言葉です。どちらかが「0（ゼロ）」であれば当然結果も「学力=0（ゼロ）」になってしまいます。しかし、毎日コツコツ頑張るとか、短時間でも集中し勉強するとどうでしょう？結果は×（かける）の力で倍増し、良い効果を生み出すことになります。何度も繰り返し言ってきたことですが、口先だけで終わらないように、「有言実行」「初心忘るべからず」の気持ちを継続させてください。

「こういう高校生になりたい」

「将来、こういう人間になりたい」という思いから「だからこういう高校生になりたい」そして「だからこの高校に行きたい！！」というように進路を考えていきます。進路というのは決して “だれかに決められるもの・決めてもらうもの” ではないのです。自分で選び決定するためにも、自身の学力はもちろんですが、行きたい学校の特徴や雰囲気を知り、通学時間や距離、通学方法をもしっかりと調べ、自分が本当に通えるのか？本当にその学校に通いたいのか？ということを自問自答しながら決定するのです。

「石の上にも３年」

みなさん３年生は、ついつい学校に “入る＝入学すること” が目標になりがちですが、本当に目指すのはその先の “出る＝卒業すること” であり、更にはその先に希望している “将来の自分の姿＝目標” なのです。「石の上にも３年」という言葉が出てきましたが、これは「つらくても辛抱し続ければ、いつかは成し遂げられる。冷たい石の上でも３ 年間座り続ければ温まることから転じて、何事にも忍耐が大切だ。」という意味だそうです。目標を見失わないように、そして長い目で見た将来設計を目指しましょう。